

## 武内 椋汰 国際学部 国際学科 3年

栃木県私立文星芸大附属高等学校出身  
2022.4 拓殖大学入学  
2024.9 アメリカ長期研修参加



Jazz class

## 私のアメリカ生活

## 【学校生活について】

学校生活では私は Oral class、Reading class、Writing class と Jazz class をとっていました。私は他の ESL の学生とは別に友人の Saleh とレギュラークラスの Jazz クラスをとっていました。上記の写真がその時の Jazz クラスの写真です。Jazz は正直元々好きではありませんでしたが、この Jazz クラスで Jazz の歴史を学んだ後に、私は Jazz を好きになっていました。

## 【日常生活について】

私は今回の留学で多くの友人を築きました。私が彼らと過ごし印象に残っているメモリーは数多くあり、今回はその中でも特に印象に残っていることとして、私の親友の Saleh と Gabe と一緒にケーキを作った日のことをここに共有します。下記の写真は親友の Saleh と Gabe と一緒にケーキを作った時の写真です。この時私の友人の誕生日で私がケーキを作ろうと言い出したことが始まりでした。元々は私の別の友人がケーキを焼くのを手伝ってくれる手筈でした。しかし、友人の都合上前日にケーキを焼くことができなくなってしまい、そのため私は自分の寮でケーキを焼くことにしました。その時に私の親友の Saleh と Gabe が手伝ってくれました。しかし、彼らはケーキの作り方なども知りませんし、ケーキも作ったこともありませんでした。また、オープンパンやミキサーなどの調理器具などもなく私もバイトでケーキ屋で働いていましたが、クリームやスポンジケーキなどの作り方はよく知りませんでした。その上、当日でクラスもありケーキを作る時間も三時間ほどしかありませんでした。料理にズボラな男三人で正直この時は、もう作るのを諦めて、近くのスーパーでケーキを買おうかと思いました。しかし、私たちは諦めずにケーキを作りました。クラス後に三人で集合してスーパーへ材料を買いに行きました。Saleh や Gabe も買い物を手伝ってくれ、Saleh はオープンパンや、スポンジケーキの粉などを買い、Gabe も材料を買うのを手伝ってくれました。私はこ



Baking a cake

の時に必要なものや作り方などをざっくりと説明したために彼らもどのようにケーキを作るのかなどさっぱりわからないまま困惑しながら、買い物を手伝ってくれたので今思うと二人にはとても感謝しないとと思われます。その後急いで寮に帰り、私は盛り付けのフルーツとクリームの準備をして、Saleh と Gabe にスポンジケーキを焼くのを任せました。二人はケーキなど焼き方も知りませんでしたが、二人で切磋琢磨してなんとかスポンジケーキを焼きあげ、無事に男三人でケーキを作ることができました。Saleh と Gabe も私が盛り付けたケーキが想像以上にとても良いケーキが仕上がった事にとても驚いていました。時間も器具もなく、作り方も知らない三人から始まった男三人のケーキ作りも、最後には多くの友人が集まりみんなで友人のバースデーを祝いケーキを食べました。

## 【研修を通して得たことと、その成果を今後の

## 学生生活や社会へどのように還元するか、について】

私がこの研修で得たことは、多くの人との繋がりであります。私は今後、この人たちから得た新しい夢であるパイロットになることをチャレンジしたい。そのため今後は aviation を学び将来パイロットになります。また、英語で日本の文化を広げることにも興味があるため、今回向上させた英語を使用して日本の文化を発信したいです。特に私は今回の留学で多くの人に出会い、本当に多くの人が日本文化に興味関心があることに気づき驚かされました。そのため今後は英語を使って日本の文化や魅力を世界中の人に伝えて発信していきたいです。特に日本の原爆被害者の話し手がいなくなっている日本では、原爆被害者の声などを英語で伝える人はほとんど日本にはいないために私が英語を話せる日本人として、戦争を経験した先人たちの思いを英語で世界中の人たちに伝えたい。



Halloween